



脱無関心

下伊那支部情報号外

2008年4月1日 発行

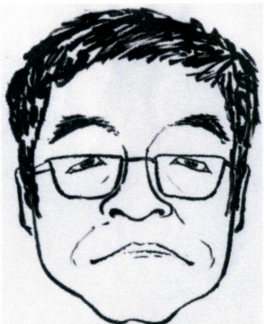
県教組下伊那支部
情宣部

4月1日は全職員で職場会を！ みんなの力で大きな成果を！

2008年度は、『**脱無関心**』をキャッチフレーズに声をかけあい、多くの組合員の加入を目指しましょう。高い組織率が、これからの運動の原動力となります。

なぜ組合が大切なのです？

約90%の高い組織率の下伊那支部（昨年度は新採者33名中31名が加入）
このように高い組織率を背景に様々な運動を展開し成果をあげています。



大池執行委員長

- ・昨年末、交渉で給与が9年ぶりのプラスになりました。
- ・文部科学省を訪問してへき地について下伊那の実情を直接訴えました。

高校入試「15の春を泣かすな」

- ・教育七団体の一員として県教委に募集定員の1学級増を要望して実現することができました。
- ・校長裁量をはたらきかけ、11名の合格者が出ました。



牧内書記長

今年は下伊那の命運を分ける年

今年4月はへき地級地指定基準の見直し、来年1月には、へき地級地指定の見直しが行われる予定です。へき地の多い下伊那にとっては大変重要な問題です。

下伊那の未来のために、ぜひ組合に加入しましょう。

高い組織率が力となる！